

若宮地区まちづくりタウンミーティング 開催結果報告書

開催日時 令和8年7月3日（金）19時00分～19時52分
場所 若宮公民館
司会・進行 若宮校区連合自治会長
参加者数 男21人 女9人 合計30人



1. 市の重点事業に関する質問

質疑応答 なし

2. 校区課題

雨水ポンプ場の老朽化対策及び緊急時の管理体制について

（質問者）

若宮校区内には土場雨水、王子川排水ポンプ場があり、地域の浸水対策において重要な役割を担っている。これらの施設は、新居浜市から委託を受けた業者と地域住民が連携しながら維持管理に努めていると伺っている。

しかしながら、近年台風や集中豪雨等の自然災害の大型化を鑑み、平成10年頃から使用

開始された両設備の老朽化を心配している。現状の設備の状況や対策、また緊急時の管理体制を教示いただきたい。

(上下水道局長)

土場雨水ポンプ場は平成 10 年に供用開始した 2 番目に新しい施設で、現在、ポンプ施設に不具合は起きていない。次に、王子川排水ポンプ場、昭和 57 年に供用を開始し 40 年余りが経過し、設備の更新が必要となっている。このポンプ場は王子川水門とあわせて県から市に運転管理を委託されており、随時設備の状況を県と共有しながら施設の保全や改築・更新を進めている。このように、両ポンプ場とも老朽化の進行に対応し、計画的に改築・更新を進めていく。

両ポンプ場と王子川水門については、住友重機械エンバイロメントに市内の各ポンプ場とあわせて運転管理を委託している。同社の社員として、川西地区の巡回パトロール、運転操作を担当する運転管理員として 3 名が配置され、地元の方を中心に 8 名の方に運転員として携わっていただいている。また、市の担当者も連絡を取り合い必要に応じて応援に駆けつける。

本年 3 月には遠方監視システムが完成し、現在、試験運用中で、これによりどこからでも運転状況を確認することができ、異常を早期に発見し、フォローアップすることが可能となる。

併せて、市の HP 等で発信される各種情報を参考にし、どのような災害が発生する恐れがあるのか理解していただき、必要に応じて早めの避難行動につなげていただきたいと考えている。

(質問者)

雨水出水浸水想定区域図には、新田町で平成 29 年に起きた被害状況は反映されているか。

(上下水道局長)

こちらは内水浸水想定区域図で、平成 29 年は川の水が溢れた外水氾濫であり、当時の事象とは異なる。

(質問者)

我々は平成 29 年当時の様な事について心配している。地域住民は大雨時等、自動車をワクリエに移動したり、色々対策を講じている。そのような心配もしなくてすむような対策が必要だと感じている。

(上下水道局長)

平成 29 年以降、樋門も改良され、遠方監視システムの整備も進めている。市役所職員、委託会社の職員等、みんなが応援できるような体制を充実させる等、今後も努力していく。

ワクリエ新居浜周辺の安全対策及び環境整備について

(質問者)

ワクリエ新居浜は、若宮校区を代表する交流拠点として、多くの市民や来訪者に利用され

ている。利用者の増加は地域活性化の観点から歓迎すべきことであるが、小学校閉校後は、校内外周の樹木の剪定が開校時と同様には実施されていないのが実態である。

特に、敷地内からフェンスを越えて道路側にはみ出している樹木は、視認性の低下や落葉による環境悪化を招き、周辺住民や道路利用者に多大な影響を及ぼしている。開校時には、緑化率の確保等の理由からフェンス際に植栽されたものと推察されるが、現在では樹木の成長により枝葉がフェンス外へ大きく張り出している状況である。

ついで、フェンス外に枝が伸びている樹木については、根元付近で切断・撤去することも含めて対応を検討していただきたい。周辺の生活環境及び道路利用者の安全確保の観点から、適切な管理をお願いするものである。

ご検討のほど、よろしくお願い申し上げます。

(企画部長)

課題となっているワクリエの樹木については、主に 3 か所が懸念箇所であると認識しているが、敷地内には多数の樹木が植栽されている。

これらの樹木は、春には花見の場として、また夏には木陰を提供する暑さ対策の場として活用されるなど、多様な用途で利用されている。一方、日常管理については、指定管理者が地域住民の協力を得ながら対応しており、可能な範囲で剪定等を実施している状況である。

まず今年度については、9 月頃に予定されている防災備蓄倉庫の建設に合わせ、地域住民と協議を行いながら、対応可能な範囲において工事と併せた樹木の伐採を実施する予定である。

なお、その他の樹木については、引き続き日常管理の中でフェンス外へ張り出した枝の剪定を行うとともに、指定管理者と対応方針を検討しながら、安全な環境整備を進めていく考えである。

(質問者)

子供たちも通る箇所で危険で、新田の顔でもある施設なので、10 年近く、地域で頑張って管理を行ってきた。今の危険な状況を見て頂きたい。また伐採して良い木を示してもらえれば、地域で対応することも考えていきたい。

(企画部長)

直ぐに全て対応できるとは申し上げられないが、指定管理者と相談しながら、対応していくように考えている。

(質問者)

全国的に倒木等で人身事故が発生しており、ワクリエでも高木の枝が落下したりしている。通学路等で万が一事故があったら大変な事になるが、ワクリエ敷地内の樹木、あるいは市内の樹木について、危険性等の調査を行っているのか。

(企画部長)

ワクリエとしては、調査の実施はできていないが、枝が落ちて危険というような箇所があれば対応していく必要があると考えている。

3. その他

質疑応答 なし

4. 市長まとめ

雨水ポンプ場の管理については、現在、市内全域を対象として管理体制の見直しを計画的に進めているところである。できるだけ早期の対応が求められていることは十分認識しているが、市内には複数の雨水ポンプ場が存在することから、優先順位を踏まえながら順次対応を進めていく方針である。

樹木については、倒木等の危険性が懸念される箇所が見受けられる状況である。今後は、例えば新設道路において、高木の植栽間隔を広げることで植栽本数を抑制するなど、維持管理や安全性に配慮した対策を実施していく考えである。また、公園等に植栽されている桜については、同時期に植栽されたものが多く、樹木の高齢化が進行している状況である。このため、計画的な植え替えについても進めていく方針である。

ただし、高木の伐採については、1本当たりの伐木費用が高額であることから、全てを一斉に実施することは困難である。そのため、危険性や必要性を勘案しながら計画的に対応を進めるとともに、道路整備や施設整備などの事業に合わせて伐採等を実施していく考えである。